

臓器提供カード 啓発へポスター

県腎臓バンク

臓器提供の意思表示
をする人を増やそう
と、県腎臓バンクは、
県薬剤師会の協力で県
内千五百二十二の会員
薬局に啓発ポスターを
張り、意思表示カード
を置く。十七日、静岡
市駿河区の県薬剤師会



意思表示カードを手に
する明石会長(左)と指出
理事長(右)静岡市駿河区
の県薬剤師会館で

館で広報スタート式が
あり、バンクの指出昌
秀理事長が薬剤師会の
明石文吾会長にポスタ
ーなどを託した。

事故、病気などで脳
死や心臓死した場合に
臓器を提供するかどうか
を示すには、意思表
示カードを持ったり、
運転免許証や健康保険
証の裏面に記載したり
するほか、臓器移植ネ

ットワークに登録する
方法がある。県疾病対
策課によると、カード
を持つ県民は一割に満
たず、三人に一人は持
っていない。明石会長は意
思表示率を上げるよう
頑張ると会員に伝え
る。移植が増えるよう
協力したいと述べた。
二〇一三年度は全国
で八十四件、県内で三
件の臓器移植が行われ
た。移植希望患者は約
一万三千七百人で、
このうち腎臓を待つ人
が一割近くを占める。
移植がかなわないまま
亡くなる人も多い。

(河野貴子)